**＜12回目のお話＞　聖霊充満な人生**

◆**代表者による祈り**

◆**分かち合い**

聖霊充満のためにどんなことをしていますか。自分が聖霊充満を受けた時、どんなことがあったかを分かち合って下さい。

◆**御言葉を開いてみましょう**

ガラテヤ5:25

◆**御言葉を知る**

聖霊様は私たちとともにおられ、私たちを真理の中へと導かれます。よって、聖霊で満たされて聖霊の力を受けるとき、私たちは神様の目にかなった人生を送ることができます。今回は聖霊の満たしを受けるときに送ることができる、望ましい人生とは何かについて見て行きます。

**1．聖霊の実を結ぶ人生**

　聖霊充満な人生とは聖霊の実を結ぶ人生です。すなわち、人生の中に愛、喜び、平安、寛容、親切、善意、誠実、柔和、自制が顕れる人生です。さらに、聖霊の実はイエス様の人格なので、聖霊で満たされた人生はイエス様に似た人生です。

　聖霊の実は決して自らの意志や努力によって結ぶことはできず、ただイエス様の中に留まることで結ぶことができます。なぜならイエス様はぶどうの木で、私たちはその枝であり、枝がぶどうの木から離れると何の実も結ぶことはできないからです（ヨハネ15:4）。よって、私たちが聖霊の実を結ぶには、何よりもイエス様の中に留まらなければなりません。

　それでは、イエス様の中に留まるとは何でしょうか。それは誠実に、一途に、信仰生活を送ることを意味します。何の対価も望まず、純粋な心でただ神様だけを礼拝し、祈りと御言葉を人生の養分とする信仰の姿勢を意味します。そして、このような心を変わることなく守っていくんです。私たちがそのような信仰で主の中に毎日留まれば、聖霊の実は人生の中に自然と結ばれることになります。

　聖霊の実はすべての働きの基本です。ですから、御言葉に通じていて聖徒を教えること、信仰で力あるわざを行なうこと、時間と物質を捧げて施しをなし、奉仕することなどのすべての働きは、聖霊の実とともにあるとき完全になります。大小様々な働きをする前に、イエス・キリストの人格が私たちに表れるよう祈らなければなりません。そうするとき、平安の中に働きがなされ、神様と人々に褒められることとなります。

**2．聖霊の賜物が顕れる人生**

　聖霊充満な人生とは、聖霊の賜物が顕れる人生です。聖霊充満な人は、聖霊の賜物を通して福音を力強く伝え、教会に効果的に仕えます。神様はすべての聖徒たちに一つ以上の賜物を下さいました。ですから、聖徒たちがこれを発見し、よく開発して神の御国を建て上げていくことに用いなければなりません。聖霊の賜物が顕れるとき、教会は絶え間なくリバイバルし、聖徒個々人も信仰の中で成長することができます。

ところが、聖霊の賜物を用いるときに注意すべきことがあります。第一に、愛が賜物を用いる動機とならなければなりません。賜物を用いるときに、いくら偉大な奇跡が顕れても、愛がなければ何の意味もないからです（コリントⅠ13:1-3）。第二に、聖霊の賜物は教会の益となることに用いられなければなりません（コリントⅠ12:7）。聖霊の賜物は個人の益ではなく、神様の栄光と教会の成長のために与えられるからです。第三に、聖霊の賜物は秩序と調和を保ちながら用いられなければなりません（コリントⅠ14:33）。聖霊の賜物を大胆に用いるのも重要ですが、何よりも自制と謙遜をもって用いることも重要だからです。第四に、聖霊の賜物は御言葉に照らし合わせて用いなければなりません。賜物の用い方と結果は、常に聖書に基づかなければならないからです。

以上のことによく留意して賜物を用いるとき、教会は益を受け、多くの人々の徳を高めることができます。

**3．聖い人生**

　聖霊充満な人生とは、何よりも聖い人生です。神様はすべてのクリスチャンたちに聖くあることを命じられました（ペテロⅠ1:16）。そして全てのクリスチャンは神の聖霊が臨まれる聖い宮なので（コリントⅠ6:19）、聖い人生は聖徒の当然の義務です。しかし、私たちは自分の中の罪ゆえに、自らの力では聖い人生を生きることができません。聖さを全うしたいという思いは大きくても、罪の誘惑を受け、挫折し、自責の念にかられるのが私たちの実態です。だから、「私は、ほんとうにみじめな人間です。だれがこの死の、からだから、私を救い出してくれるのでしょうか」（ローマ7:24）というパウロの告白に深く共感するんです。

　しかし、私たちの力では罪の誘惑に勝てませんが、聖霊様がともにおられれば肉体の罪に打ち勝ち、聖い人生を生きることができます。「私は言います。御霊によって歩みなさい。そうすれば、決して肉の欲望を満足させるようなことはありません」というガラテヤ5:16の御言葉のように、聖霊様は私たちに罪に打ち勝つ力を下さるからです。聖さは聖なる聖霊様を通してのみ、なすことができます。ただ聖霊で満たされるとき、私たちは罪の誘惑をはねのけ、聖さにもう一歩近づくことができます。

　さらに、私たちが聖霊で満たされて聖い人生を歩むとき、神様は私たちに平安を下さいます。ローマ8:6は、「肉の思いは死であり、御霊による思いは、いのちと平安です」と話しています。神様の被造物である人間にとってまことの平安は、神様を喜ばせることで神の聖霊によって豊かに満たされる以外にはありません。私たちが聖霊充満を得て、毎日聖さを成すために力を尽くすとき、神様は平安という、この世の何物とも比べられない尊い贈り物を与えて下さいます。

◆**祈り及びとりなしの祈り**

1．毎日イエス様の中に留まり、聖霊の実を結ぶ人生を送れるよう祈りましょう。

2．聖霊の賜物を通して教会に益を与え、多くの人々の徳を高められるよう祈りましょう。

3．聖霊充満を通して罪の誘惑をはねのけ、聖い人生を送れるよう祈りましょう。

4．隣の人と祈りの課題を分かち合い、ともに祈りましょう。

以上の内容はヨイド純福音教会区域礼拝テキストから抜粋、追加、翻訳、再構成したものです。